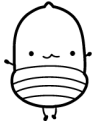


# かほだより



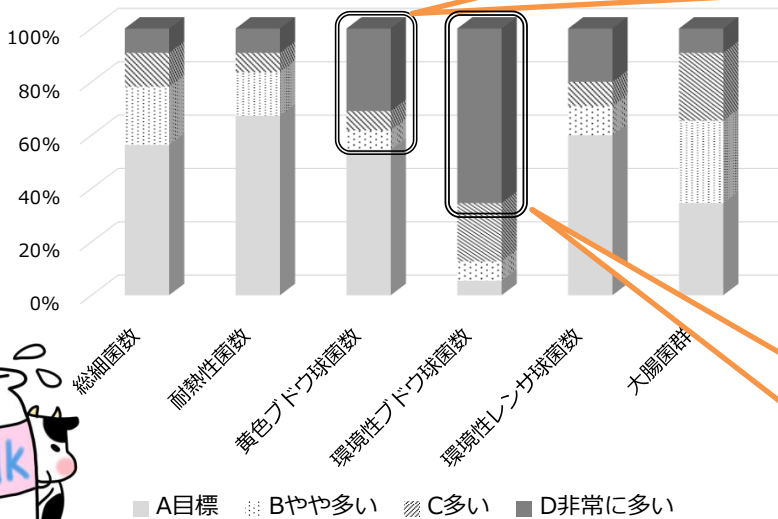
## 1 回目バルク乳検査の成績について



5～7月に実施した1回目のバルク乳検査（酪農生産性向上対策事業）では、採材等にご協力頂きありがとうございました。

53戸(55検体)で実施した検査の集計結果をお知らせします。

各細菌数のランク別農家の割合



陽性農家 45%

### 黄色ブドウ球菌(SA) 伝染性乳房炎の原因菌

対策：SA排菌牛の淘汰や隔離、  
最後搾乳、乾乳期治療の  
徹底等

SA排菌牛の特定等詳細は  
家畜保健衛生所まで  
ご連絡ください

D ランク 65%

### 環境性ブドウ球菌 環境性乳房炎の原因菌

対策：乳頭清拭の適切な実施  
搾乳手順の再確認  
搾乳機器洗浄の再確認  
牛床を乾燥させる等



- ◎無乳性レンサ球菌は全検体で分離されませんでした。
- ◎BVDウイルス遺伝子は全検体で検出されませんでした。
- ◎マイコプラズマは全検体で検出されませんでした。
- ◎昨年と比べ全体的に菌数が増加しました。  
衛生的な搾乳を心がけましょう。



## 《バルク乳検査 2 回目の採材予定》

10 月下旬～	JA 大北, JA あづみ, JA 塩尻市, JA 松本ハイランド, JA 木曾 等
11 月～	南信酪農協

※採材・検査にご協力ください

